



文部科学省

令和7(2025)年度全国学力・学習状況調査の結果について



みよし市教育委員会としての基本的な考え方

全国学力・学習状況調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持・向上、教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るために行われました。また、文部科学省は本調査で測れるものは学力の一部であるとしており、地域・学校の序列化や点数を競うためのものではないとしています。各家庭には、市内小中学校の結果について概要をお知らせすることで、学校から配布される学校全体の結果と個票を見比べて、今後のお子様の学習への取組に生かしていただきたいと思います。

なお、この内容はみよし市のホームページにも掲載しております。

状況をみるにあたって

全国学力・学習状況調査の対象であった市内小学校6年生と中学校3年生全体の状況を、教科に関する調査については、平均正答率について全国公立学校全体の状況との比較から、校種別・教科別に次の3段階で示しています。

「よくできている」「おおむねできている」「努力を要する状況である」

それぞれの教科で、特に優れている内容と課題のある内容の一部を紹介します。

また、質問紙調査の結果については、回答の状況を全国公立学校全体の状況と比較して、特徴的な内容を紹介します。



小学校6年生について

国語	<p>「おおむねできている」</p> <ul style="list-style-type: none">目的や意図に応じて日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することがよくできている。目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして、必要な情報を見付けることができています。目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。
算数	<p>「おおむねできている」</p> <ul style="list-style-type: none">はかりの目盛りを読むことがよくできている。伴って変わる二つの数量の関係に着目し、問題を解決するために必要な数量を見だし、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて記述することがよくできている。棒グラフから項目間の関係を読み取ることができている。数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉えることに課題がある。
理科	<p>「おおむねできている」</p> <ul style="list-style-type: none">水が氷に変わる温度を根拠に、オホーツク海の氷の面積が減少した理由を予想し、表現することがよくできている。水の蒸発について、温度によって水の状態が変化するという知識を基に、概念的に理解できている。土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、結果を基に結論を導いた理由を表現することができている。種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現することに課題がある。



中学3年生について

国語	<p>「おおむねできている」</p> <ul style="list-style-type: none">読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることがよくできている。自分の考えが、明確になるように、論理の展開に注意して、話の構成を工夫することができている。文脈に即して漢字を正しく使うことができている。
----	--

数 学	<p>「おおむねできている」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・素数の意味を理解することがよくできている。 ・統合的・発展的に考え、条件を変えた場合について、証明を評価・改善することがよくできている。 ・証明を振り返り、証明された事柄を基にして、新たに分かる辺や角についての関係を見いだすことができている。 ・相対度数の意味を理解することに課題がある。
理 科	<p>「よくできている」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気圧の知識が概念としてよく身に付いている。 ・探求から生じた新たな質問や身近な生活との関連などに着目した振り返りを表現することがよくできている。 ・電熱線で水を温める学習過程において、回路の電流・電圧と抵抗や熱量に関する知識及び技能が身に付いている。



児童生徒質問紙調査について

〈生活に関する質問について〉

- ・中3生徒が「学校に行くのは楽しい」と肯定的に回答した割合は全国と同程度である。
- ・小6児童、中3生徒ともに「朝食を毎日食べている」と回答した割合は全国と同程度である。
- ・小6児童が「将来の夢や目標をもっている」と回答した割合は全国よりも低い。
- ・中3生徒が「自分にはよいところがある」と回答した割合は、全国よりもやや低い。

〈学習に関する質問について〉

- ・小6児童が、「学校の授業時間以外に、普段1日当たりでPC、タブレットなどのICT機器を勉強のためによく使う」（2時間以上）に回答をした割合は全国とくらべてやや高い。中3生徒が回答した割合は全国より高い。
- ・小6児童が、「算数が得意」と肯定的に回答した割合全国よりやや高い。中3生徒が「数学が好き」と肯定的に回答した割合は全国より高い。
- ・小6児童が、「地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがよくある」と肯定的に回答した割合は、全国よりやや高い。
- ・中3生徒が、「1、2年生の時に受けた授業でPC、タブレットなどのICT機器をよく使った」と回答した割合は、全国と比べてかなり高い。

〈質問内容と学力との関係について〉

- ・「毎日、同じくらいの時刻に起きている」と回答した児童・生徒は、「全くしていない」と回答した児童・生徒と比べて、正答率が非常に高い。
- ・「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができる」と回答した児童生徒は、「できていない」と回答した児童・生徒と比べて、正答率が非常に高い。
- ・「授業では、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだ」と回答した児童・生徒は、「当てはまらない」と回答した児童・生徒と比べて、正答率が非常に高い。



結果を活用した市の対策について

本調査の結果は、今後、市教育委員会及び各小・中学校で、調査結果を詳細に分析し、課題を解消するための教育行政の見直しや授業方法及び学校運営の改善に役立てます。

- 各校の結果については、別添の文書のとおりです。
- このことに関するお問い合わせは、下記へお願いします。

【お問い合わせ先】 みよし市教育委員会 学校教育課 電話:32-8026